

テーマセッション各提案の 今後の進め方について

(igf2021:825)と同じ内容です。

(igf2021:811)にて、秋イベントのテーマセッション審査結果報告を皆様に行いました。プログラム委員会では、そのメール内でお示した「今後に向けた準備」を次のように進めています。

> a. 7月25日に、活発化チームとして各提案者にフィードバックを行う。

提案者それぞれに対し、採用の旨の連絡を完了しました。

> b. 各提案者との相談を担当するセッション担当者については、8月中旬までの
> 決定を目指し、活発化チーム全体に対しプログラム委員会を中心となり募
> 集・指名活動を行う

本メールにて、活発化チームの方々全員を対象に、4つの提案それぞれに対する「セッション担当者」を募集します。なお、4つの提案の内容及びプログラム委員会がこれまでに整理した詳細フィードバック案を添付及び下部への貼付けにて示しますので参考にしてください。

・活発化チーム全体<gf2021@japanigf.jp>

または、全体に出すのがはばかられる場合は、

・hotta@jprs.co.jp, sec@japanigf.jp

にご連絡をお願いします。

> c. 活発化チームとして、8月8日までに提案毎に個別フィードバックを行う

下に貼り付けたフィードバックをベースに、セッション担当者からフィードバックを行っていただき反映方法を相談することを考えています。(とはいえ、提案者の方々には、本メールにより活発化チームにも属していらっしゃる方が多いので、文字でのフィードバックが始まることになる提案者も多いと思います。)

===== 詳細フィードバック案 =====

【提案1】

提案者： 福井健策

タイトル： オンライン海賊版の現状と、対策の現在地点(仮題)

- 漫画海賊版の難しさの根源はどこにあり、我々の対策は何を乗り越えるべきか

フィードバック

- 海賊版サイトという題材は古くまた狭く感じられるため、タイトルの変更を含め、視点を変えてはどうか
- 漫画のみでなく、音楽/映画/YouTube等のコンテンツ権利も含まれるとよい
- これまでの視点を越えた多様な視点での議論を期待する
- 事前に導入用コンテンツを紹介するなどの手法を組み合わせれば聴衆の期待値を高められる可能性があると思われる

【提案2】

提案者： 立石聡明

タイトル： 日本のインターネット(通信網)は大丈夫か？

- 災害時や障害発生しても我々は生きていけるか？

フィードバック

- TBDの具体化が必須
- 安定的と思われてきた日本のインターネットの接続性に関し、KDDIの通信障害もあり、利用者が持ちうる懸念を扱う時流に沿った話題である
- 大規模通信障害や自然災害が発生しがちな今の日本を考えると、身近な話題可能であれば、立石さんモデレータのセッションは1つにするのがよい
- 提案4とのシナジーも視野に入れて、提案4の提案者と情報共有・調整願いたい
 - 提案2と提案4については、国内/国際、技術的/地政学的という見る角度の違いはあるものの両セッションの相乗効果が得られる可能性があるため、提案者同士+活発化チームメンバーで相談し、形態(マージ、同日連続開催し議論を一体化、等)も含め具体化、魅力向上を希望

【提案3】

提案者： 立石聡明

タイトル： 電気通信事業法の改正とインターネット・ガバナンス

- ガバナンスに関する法制度巡る議論

フィードバック

- TBDの具体化が必須
- 法案に賛成した人・反対した人双方が登壇者するよう調整する必要がある
- 全体テーマ「今、改めて問われるインターネットの自由」と関連付けたコンテンツとしてほしい
- 国内法を読み解くことになると思われるが、専門性が高くなりすぎず、一般参加者の関心をひくようにする工夫が必要である
- メディア等では深く扱われないテーマでもあり、法学・通信工学・プライバシーなどの複数の視点を取り込めれば、多面的に議論興味できる可能性がある
- クッキーの扱いについて利用者への影響にも触れればより身近に感じられる可能性が高まる
- 可能であれば、立石さんモデレータのセッションは1つにするのがよい

【提案4】

提案者： 水越一郎

タイトル： スプリンターネット2.0

フィードバック

- サブタイトルを工夫するなどして、内容が想像しやすいものとする必要あり
- 全体テーマ「今、改めて問われるインターネットの自由」と関連付けたコンテンツとなるとなおよい
- propaganda、fake newsのことも中で扱うと面白味が増すと思われる
- ウクライナ観点だけでなく、ロシア側、または第三国、欧米など複数の観点から見通すセッションとなるような工夫が欲しい
- 登壇者からだけの報告や見方の表明でなく、議論があるようにしてほしい
- 提案2とのシナジーも視野に入れて、提案2の提案者と情報共有・調整願いたい
 - 提案2と提案4については、国内/国際、技術的/地政学的という見る角度の違いはあるものの両セッションの相乗効果が得られる可能性があるため、提案者同士+活発化チームメンバーで相談し、形態(マージ、同日連続開催し議論を一体化、等)も含め具体化、魅力向上を希望

以上